

【Column】私たちが「満額仲介」を選び続ける理由

— 責任を省かないという選択 —

高額な資産を動かす取引ほど、結果を左右するのは「誰が責任を負うのか」です。不動産取引において、その問いから逃げることはできません。

近年、仲介手数料無料を謳うサービスが増えました。多くは、買主様から手数料を受け取らず、売主様側からのみ報酬を受領する形で成立しています。この仕組みでは、仲介会社の責任が、構造上、売主様側に寄ります。

私たちは、この構造を選びません。創業以来、一貫して満額仲介を貫いています。

それは費用の問題ではなく、責任の取り方の問題だからです。

■仲介手数料とは、責任の範囲を示すもの

不動産取引には、調査・検証・交渉・条件整理・決済管理など、多くの工程があります。これらの工程は、省略すればするほど取引は軽くなります。同時に、透明性と安全性は静かに失われていきます。

仲介手数料とは、誰が、どこまで、責任を負うのかを明確にする対価です。

■弊社が省かない工程

弊社は、売主様・買主様のいずれかの利益を優先する立場には立ちません。取引全体の安全性と公平性を守るため、双方に同じ重さの責任を負います。

その前提に立ち、以下の工程を一切省略しません。

- ・ 権利関係・登記履歴・背景事情の精査
- ・ 条件調整における利害整理と交渉
- ・ 弁護士・司法書士・税理士等の専門家との連携
- ・ 決済完了までの全工程管理とリスク監理

これらは形式的な仲介業務ではなく、資産を守るための実務です。金額が大きくなるほど、工程の簡略化は許されません。

■ご相談は無料、責任は成約時に

弊社では、成約に至るまで費用は頂戴しておりません。一方で、責任を負うべき局面では、全責任を引き受けま

す。
売却・購入の可否判断、タイミングの見極め、資産整理の方向性。判断を誤れば取り返しのつかないテーマだからこそ、まず正しい情報を持っていただくことを最優先に考えています。

ご相談は完全予約制にて承っております。一件一件に十分な時間と集中を確保するため、事前のご予約をお願いしております。

責任を伴う取引は、責任を引き受ける者とともに。

その第一歩として、まずはご相談ください。